

広報



ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

△ミニ知識▽

所得税第二期分の納税は

十一月三十日まで

今月は、所得税第二期分の納税の月です。景気の変動や廃業、休業、転業、失業あるいは多額の医療費の出費、天災や人災等で前年より所得が減ると見込まれたり、新たに障害者、高齢者寡婦、勤労学生となったほか、結婚、出生等で控除額が増えた場合には、予定納税額の減額承認の申請をすることができ、この申請は、十一月十五日までに税務署へ提出することになります。
なお、納税には振替納税制度をご利用下さい。

コンバインを操作する伊藤、一岡両君



10月30日、八郎潟干拓地、大潟村へのアンカー入植する第五次入植訓練生の終了式がおこなわれた。昭和40年に入植が計画されてからちょうど10年目で、終りを告げるようになった。本町からは、第一次1人、第二次3人、第三次5人、第四次5人そして第五次7人の計21人の入植となっている。

八郎潟は約2千5百年ほど前の縄文時代晩期に、海跡湖として誕生したものとみられ、その干拓の歴史も文政9年(1826)今から約150年前に若美町の渡部斧松氏によって(30ヘクタール)手が染められている。その後明治年代に入っても、秋田県は勿論、国の施策としても干拓の是非は論議を呼び、明治5年には島秋田県令(知事)が干拓を希望する意見を上申したため時の太政官大久保利通によって免官されている。

しかし、湖を農業の基盤としたい執念は根強く、大正2年から14年までの間に、飯田川町の小玉政吉氏によって東岸約70ヘクタールの干拓が成し遂げられた。

干拓案は戦中戦後食糧不足の時は浮上し、そのたび毎に膨大な財政負担や地元漁民の強硬な反対に会って挫折を繰り返した昭和30年8月20日八郎潟干拓事業の起工式を行なうまで、その施策は試行錯誤にあけくれたのである。農業は今国内資源という新しい視点から、民族の安全保障をになう戦略産業として見直されている。投資された国費740億円、干陸までの労働力延べ300万人で入植の大地は創造された。過去のない村に住む580名のパイオニア達は、1万2千ヘクタールの耕地に超近代化された農作業の機械化体系を導入し、日本農業の指標を作りあげようとしている。一般農業の変革はこゝを起点として波及していくことだろう。

本町出身の21名のみなさんは与えられた環境を十分活用し、日本農業の可能性を探究して欲しいし、農業のすばらしさをわれわれに示していただきたい。それが日本農業のメッカとなる「大地に生きる」男達の責務でもある。期待してやまない。

大地に生きる男たち

男たち



△広報サロン▽
未知の環境に不安
高崎 館岡ミエ子

秋後の収穫はやはり農家にとって一年の望みの時です。

今から十年前前は嫁いできまして、が、思いおこすと、大変農作業も機械化という進歩と共に、変化を見せました。嫁である私も農作業に追われる、生活の内容も大きく変化を見せました。こうした時私にとって三度目の人生が待ちかまえておることに期待と不安のこのごろです。夫が七カ月の訓練を終え、正式に十一月から八郎潟第五次入植をすることになりました。対人間関係、対社会環境が一変してしまふことへ不安でいっぱいです。住みなれた地域や友達とのお別れには、なんともいえないさみさを感じるどころです。子供のことも思えば、なおさら不安もあります。養鶏を取り入れ稲作プラス畜産ということで、以前には意欲をもやしていた夫で、したが、規模の小さい畜産経営は先が暗く自然淘汰の様にしたものもつい最近のことです。

以前工場通いをしたりして農外収入をしていた夫でしたが、農業をしたいという切なる願いがかなったわけで、訓練で得たものを基礎としながら大いにまっ進してまいりたいし、私は側面から協力してゆきたいと思います。幸い同じ出身の奥さん方、あるいは先に入植した方々からいろいろ教えてもらい共に力を合せわ、なんとか努力してみようという決意です。

（アール）植えるようで、九キロ位走る。今は十ヘクタールなどの力で、八日間ブツ通しとなると体力に不安を感じています。手植えはヘドロなどの関係で、それより方法がない場合もあります。が、酸化層が形成されるにつれ機械または直播の導入はどうか。機械導入ではないでしょうか。

工藤：そういう意味で直播がすすめられていくのですか。

田植は訓練外

館岡：直播は大潟村における農林省の指導方針であり、基本姿勢でもあるわけで、機械植や田植は訓練の中には入っておられないわけです。

直播は大潟農業の課題

小野：直播が素直に受け入れられないところに、いろいろな問題点が含んでいますが、この解消が大潟農業の最大の課題でもあるわけですね。

田植機械で北海道で開発されたものに、十二条植えの田植機械が出来ました。トラクターにアタッチメントして、一日に八町歩くらい植えます。これに期待されるわけですが、アタッチメントで五十万円くらいになります。来年一台入植者が導入する予定です。

ただし、育苗費が高つくし十アール分四千円なので、それだけで六十万円相当になる。それが障害になるのではないかと思っています。



石井俊光

除草剤の効かないウキヤガラ
石井：雑草ではウキヤガラという除草剤の効かない草があり、この草が田んぼに生えますとそのための人夫費が、年間五十〜六十万円は違うのではないかと。司会：灌水しないときに薬で殺草することはできないのですか。

ウキヤガラの根は球根

小野：絶対といってよい程効果はありません。大きさは稲位になり、根は球根状態なので茎が死滅しても下部は生きています。死つた具合で、今年の除草時期にはウキヤガラとの戦い時期には工藤：鳥害とウキヤガラとの他に戦いを挑まなければならないのは何んですか。

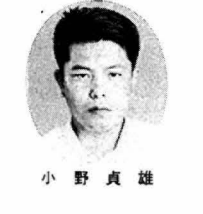
伊広：排水です。

暗渠の効かないヘドロ

館岡：ヘドロは水が浸透しないので、田面の水を排水するしか方法がないのです。暗渠の効果は勿論ありません。司会：先を急ぐようですが、郷土五域町を調べてみて、農作業の機械化、その他の感じることなどを述べほしいと思います。

働きすくめに終止符

伊藤：小さい農家であったため、農外収入を求めているら職場を替えてみましたが、三六五日休まる日がなかったレジャー



小野真雄

の最高季節には農繁期に当るので、人並みに楽しみを味わうこともできなかった苦しい思い出ばかりが残っています。入植後はその余念裕が出来て生活をエンジョイできるのでホツトだと思います。

大型農機具は共同

石井：大規模農業を実施出来る立場になったから言えることですが、コンバインなど、大型機械の場合には共同の方がよいと思います。いくら十五ヘクタールを経営できても、個人で次に機械を求めたのでは、とてもしゃないが農業の明るい見通しは生まれてこないと思います

面積にあつた共同設備が必要

畑沢：八郎湯町の地先四百ヘクタールを対象にしたカントリーエレベーターが、収容能力三百五十ヘクタール分なのに既耕地分までの申込みがあり、今年も規制するほどの大発生だといわれています。昨年も不評がうそのようで、これからの農家の在り方が何れおもしろいとみています。

大潟村がうらやましい程の農業

大潟村がうらやましい程の農業が出来るといふのは、土地が広い事も去ることながら完全に協業でやるからコストの安い米も面積に合せた設備を持つことで協業出来る節面が相当あると思えます。



小 熊 一 夫

蛙の声に古里の営みを味わう
一関：話は違いますが、時々家に帰った時は夜に部落内グルット一回りします。それは月夜に鳴く蛙の声を聴くためです。大潟村では蛙がおりにませんので、この声を聴くと何んとも言えぬ和やかな気分になります。郷土の自然の営みは生涯忘れることができそうありません。

司会：それは最後に入植後の目標

または抱負を一言聞かせてほしいと思います。

とにかく稲作り

館岡：七カ月間の研修をしました。が、営農に対する実感はまだ湧いてきません。住宅が決つて、自分の田んぼがあり、機械を見てその面での実感も湧いていきました。一番目の目標はやはり、他人より多くの米の収量をあげていきたいと思っています。

今までの経験を生かしたい

全くの初期営農に一本の不安がつきまといまう。とにかく機械化に合った収穫の多い稲作りをたいと初期営農の成功に結びつけたいと思っています。

司会：大変長時間にわたる話し合

いになりましたが、皆さんが初体験で不安感もあるようです。しかしこれは皆さんの努力によって解決されることだと思えます。我々にかわって大管農企業を達成して欲しいものと心から念願しております。



佐々木部長

付開始。九月十四日には稲刈りが行なわれた。
昭和三十三年
十一月十二日 中央千拓地の正面農防開始。中央千拓地の千拓開始。
昭和三十三年
七月二十二日 中央千拓地に生まれる新しい村の名称を「大潟村」と選択決定。
九月十五日 中央千拓地千拓式。一万五千八百七十ヘクタールが湖底から姿をあらわす。
十月一日 大潟村発足。役場は県庁内に設置。嶋貞隆之助氏が村長職務執行者となる。
昭和四十年
七月二十六日 中央千拓地千拓終了。
昭和四十二年
六月二十五日 中央千拓地第一次入植者募集。募集人員五十八人に対し全国で六百人の応募。
十一月十日 第一次入植予定者五十八人（うち秋田県人二十八人）入植指導訓練所へ入所、合宿訓練開始。
昭和四十二年
六月十五日 第二次入植者募集。募集人員八十六人に対し全国で二百八十一人の応募。
十月二十七日 第二次入植者の訓練終了。入植開始。
十二月二十六日 大潟村役場が総合中心地に完成した新庁舎に移転。大潟村内へのバス運行開始。
昭和四十三年
六月十一日 第三次入植者募集。募集人員百八十八人に対し応募三百九人。

九月十七日 第一次入植者による初の刈取り始まる。
十月三十日 大潟村立小、中学校開校。
昭和四十四年
三月二十三日 八郎湯カントリーエレベーター公社設立。四十六年度までに六基三万トン、取容の施設を完成。
九月二十七日 農政審議会、減反政策を答申。第五次以降の減反を実施する。大潟村でも減反を実施する。
昭和四十五年
二月七日 米の減反、市町村に一律七・四割割当て。大潟村に達成率は十割。
昭和四十八年
一月八日 四十八年度予算大蔵省原案内示。八郎湯中央千拓地の入植再開と入植戸数を当初の九百八十戸から五百八十戸とし、一戸当りの規模を十ヘクタールから十五ヘクタールにふやすことが決定。
三月三十一日 八郎湯中央千拓地既入植地を土地改良法に基づき部分竣工とする。入植者の負担金償還、四十八年度開始が決まる。
四月二十六日 県立農業知大が総合中心地に開校する。
九月十日 中央千拓地営農計画変更案、水田単作を水田畑複合経営が決まる。田畑の比率は一対一。
十月十七日 既入植者へ五ノ七模は一戸当たり十五ヘクタールに募集し、最後の第五次入植者募集同一日、募集人員百二十人に対し全国から応募八百六十九人。
昭和四十九年
三月三十日 第一回入植者負担金の償還。国庫に五億四千八百四十一万円、八郎湯新農村建設事業団に三億五千五百万円、農家一戸当たり平均百九十五万円の支払い。
十月三十日
第五次入植者終了式

第三回「町ぐるみごみ大掃討作戦」の実施について

第一、二回実施の折は、特段のご配慮をいただき厚くお礼申し上げます。さて、このたび第三回「町ぐるみごみ大掃討作戦」を別紙計画により実施いたしますから、ご多忙中誠に恐れ入りますがよろしくご協力をお願い申し上げます。

主旨

本町重点施策の一つに環境保全対策をかね、全住民が一丸となり、本年度の締めくくりとして下水、側溝、公共施設等全般のにわたり清掃活動を展開しようとするものです。

期日

十一月十七日(日)
※企業、官公署は十六日(土)

時間

午前六時から正午までがよいと思いが、実施の時間運用については、町内、部落、団体に一任します。

実施要領

一、住民の場合
各町内、部落の下水、側溝等の泥上げと処理
各町内、部落の公共施設や広場の清掃
各町内、部落等の公共施設や広場の下水、側溝等の清掃
側溝、橋の付近の清掃

二、企業、官公署、団体の場合

工場の敷地内外の清掃及び付近の下水、側溝等の清掃
私有地、借用地等で別の場所に廃棄物を捨てている場合は、その場所をもとより付近の清掃に

つとめ、以後の管理を完全にすること。
公共施設(神社、寺院、空地等)の清掃
機会あることに住民、企業への環境美化啓蒙にとめてほしい
三、清掃方法
美化対象箇所のごみ処理
下水、側溝等の汚物処理
(f)可燃物は焼却し、不燃物は適当な場所を選定し、穴を掘るなどして処理していただきたい。
四、その他
雨天順延
当日、民生部保健衛生課職員により各地区を巡回する予定です
環境美化実践へのご要望、ご意見は役場(電二〇〇)民生部保健衛生課へ。

花だんコンクール

老人クラブ 優秀な成績をおさめる子ども会

町をきれいにする運動の一環として、春以来五城目町公民館が提唱してきた花いっぱい運動について町内、部落会、学校、職場、子ども会育成会、青年会、婦人会、老人クラブ等六十団体が花苗を無料配布して花いっぱい運動をすすめてきたが、この程全町花だんコンクールに三十九団体が応募され、花だんの設計、花の種類の選択管理、組織、などを基準にして審査を行ったところの中から次のように入賞された。

見内連合子ども会 (代表 工藤 二郎)
石崎老人クラブ (代表 加藤孫吉) 優良賞
御歳町老人クラブ (代表 伊藤 其二)
畑町第一第二寿会 (代表 渡辺千代治)
雀館老人クラブ (代表 齊藤兼治)
大川第二鶴寿会 (代表 北嶋兼松)
内川小学校 (校長 今村 房蔵) 努力賞

久久栄町老人クラブ (代表 伊藤梅之助)
石崎親子会 (代表 加藤 憲人)
西野老人クラブ (代表 佐藤三郎)
蓮内台子ども会 (代表 石井浩智)
五城目幼稚園 (園長 中村清次郎)

町をきれいにする運動の一環として、春以来五城目町公民館が提唱してきた花いっぱい運動について町内、部落会、学校、職場、子ども会育成会、青年会、婦人会、老人クラブ等六十団体が花苗を無料配布して花いっぱい運動をすすめてきたが、この程全町花だんコンクールに三十九団体が応募され、花だんの設計、花の種類の選択管理、組織、などを基準にして審査を行ったところの中から次のように入賞された。

「人権擁護委員」のお知らせ
あなたの地区の人権擁護委員は左記の方々です。人権擁護委員はあなたの町から推せんされた人で法務大臣より委嘱されております。人権擁護委員の主な仕事は、みなさんの人権が侵されないようにたえず見守り、もし、人権が侵されたり、侵されようとしている場合は相談相手になってその救済をはかるなど、また、人々の間に正しい人権の考え方を広めたりすることです。

みなさんが、毎日の生活を営んでいくうえで、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、法律上どのようなことになるかわからないため困ったりすることがあると思います。そのような場合はあなたの近くの人権擁護委員に気軽に相談されたことは一切秘密に扱われます。

佐藤 勝太郎 (五城目) 二二二〇
小林 誠 (五城目) 七四一九
小大川内電(五城目) 二五四六
大川二区電(八郎湯) 二五四六
川村 隆 (五城目) 三三三五
川原町電(五城目) 三三三五
加藤 教藏 (五城目) 八三三二

社会保険制度に関するテレビ番組を「ご覧ください」
社会保険庁では、いま、毎週土曜日午前十一時十五分から十一時三十分までの十五分間、A・K・T・秋田テレビから、社会保険制度全般について「きょうの健康」あなたの年金というタイトルでカラー番組を放送しています。

これは、最近、社会保険制度に寄せる国民の関心が日と高まっていくの折から、国として積極的に広報に努め、国民の福祉の向上を図ろうというものです。

放送日及び放送テーマは次のとおりです。ぜひご覧ください。

放送日 放送テーマ(仮)
11・9 わたくしたちの国民年金
11・16 船員保険の福祉施設
11・23 厚生年金のしくみ
11・30 社会保険の相談に気軽に
12・7 積立金はどのように運営されていますか
12・14 国民年金の第一線に働く人々
12・21 社会保険労務士制度をご存知ですか
12・28 年金相談コーナーが開設されました

なお、この番組の放送に続き、次のとおりイフオメーション番組(十五秒)も放送されます。

11・2 今月の支払いスライド後の分です
11・9 成人病予防検査を受けましょう
11・16 社会保険労務士制度をご存知ですか
11・23 年金受給者の住所、支払

機関の変更はすみやかに手続を
11・30 奥様も国民年金に加入しましょう
12・7 成人病予防検査を受けましょう
12・14 過去の未納保険料を納めましょう
12・21 社会保険料を完納しましょう
12・28 老令年金の受給者は現況届を提出しましょう

第二十一回 全県OB野球大会にて

五城目町伊藤勇蔵氏が十年間の選手出場して秋田県軟式野球連盟会長より功労賞として表彰された昭和二十八年が第一回で五城目町が優勝しているが昭和三十三年に角館に於いて第十二回目から再度出場していらし今日まで十ヶ年間連続出場し主として投手と言ふ重要な位置で奮闘された功績が認められたものである。

菊の展覧会

十一月二日・四日まで
五城目町菊同好会では来る十一月二日、三日、四日、五城目町公民館で展覧会を開催いたします。一年間胆精を込めて作った見事な大輪は色とりどりにみなさまの目を惹きつけてくれることだろう多数のおいでを待っています。

おわび

ヤング登場人物の写真が当方の手違いで他人のものを掲載してしまいましたのでお詫びいたします



おしらせ

ねんきん通信

物価の上昇にともない

年金額もスライドされます

問：厚生年金に加入したあとと、引き続き国民年金の保険料を納入していますが、そのような場合、将来両方から年金額をもらうことができますか。

答：二年以内に滞付手続きを、

問：厚生年金と国民年金とは二重に加入することはできませんから、厚生年金に加入したあととの期間の国民年金の保険料を引続き納入していても、その期間にたいする老齢年金も、通算老齢年金ももらえません。ですから厚生年金の加入者になった日にさかのぼって「国民年金被保険者資格喪失者」を役場に提出してその期間の保険料を返してもらってください。

なお保険料を払いこんでから二年以内に滞付請求の手続をし

生涯教育パイロットチーム研究員を委嘱

教育事業の連絡調整を図る

昭和四十九年度から五カ年にわたって本町の生涯教育パイロット町として県より指定をうけることになったこととはご承知のとおりですが、生涯教育については学校、社会、家庭、職場などにおける教育の役割を明確にし、相互の関係をより緊密にするのが大切であるが、本年度の本町における生涯教育施策の一つである。

生涯教育パイロットチーム研究員

伊藤 大幸 五城目町総務課主任
 畑沢 達雄 五城目町産業課主任
 本間 米吉 富津内小学校教頭
 石井 有保 杉沢中学校教頭
 一関律子 五城目保育園主任
 佐藤 淳 五城目幼稚園教諭
 阿部 ミヅ 富津内保育所主任

生涯教育パイロットチーム研究員をこの度委嘱しました。

これは行政各機関のもっている教育事業を総合的に連絡調整し、その効果的な運用をはかることや市民にひろく学習の機会を拡大し、施設、設備を整備開放し、材を活用することなどが生涯教育の方向でもあります。

研究員は次の二十名で構成されています。

生涯教育パイロットチーム研究員

椎名テル子 五城目町保健衛生課
 渡辺 重治 五城目町企画課主任
 館岡 克己 五城目町住民課係長
 山田国三 五城目町商工会事務局長
 小野博 五城目町学校教育課係長
 石塚 悦子 五城目保健所係長
 鷺谷 英哉 五城目町農協指導課長補佐
 工藤 富雄 県教育庁指導課主任
 伊藤敏雄 五城目町社会教育主任
 小林 晃 五城目町公民館主任
 坂谷 晃 五城目町公民館主任
 小玉 博 五城目町公民館主任
 石川昭一 五城目町公民館主任

交通事故巡回相談所の利用について

秋田県交通事故相談所では、交通事故の被害にたいし手続きがわからないために正当な補償が得られない

善意銀行の預託について

この預託が町の善意銀行(次のような施設)がありましたのでお知らせします。

一 金 三〇、〇〇〇円

八田 伊藤 正 紀
 亡父向三郎(勤六等車光旭日章)の香典返活動へとのことです。

善意銀行 五城目町支店
 五城目町社会福祉協議会

ませんと、時刻になって戻ってきませんのでなるべく早く手続きをとることをおすすめします。

問：夫婦で五万円がもらえらると思いますが、どうすればもらえますか。

答：所得比例の保険料を二五年で、

問：国民年金の保険料を二五年間払い込むと、一カ月二万円の年金がもらえますので、夫婦が加入して、この場合に二人で四万円になります。このほかに四万円(所得比例制の保険料を夫婦とも二五年払ってもらう一万円を合計すると、五万円になります。

これが国民年金の五万円の中身です。なお、この場合の保険料の負担は四九年一月分から、

ヤング登場

国内研修を振り返って



岩野鳥井孝子

先頃私は、青年の家主催、青年国内研修農業班に参加しました。この研修の目的というのは十勝清水町における大規模稲作経営の実習、産業事情、青年会活動の視察というものであった。参加者男子六名女子六名の計十二名に引平の先生が一名であつた。

七月八日に秋田を出発。十一日清水町の入入式を終えたあと二名づつ六軒の民泊へと向つた私の行った所の経営は、子牛を飼っているのが五十頭で、その内の二十五頭が搾乳牛、残りが若乳、肉牛として五十頭。畑が三十九ヘクタール、放牧場五ヘクタールとほんとうに大規模経営でした。

わたしたちは、直接搾乳牛にたづさわりましたが、びっくりしたのが、びっくりしたのは、小さく、便を感じた。そして、北海道の農家は伸び伸びと大らかに草を食うこと。その一瞥も三メートルほどというから、友だちと顔を見合わせては、

ため息をついていました。北海道に行つて初めて聞き、見るものが多くて、よく知らなかった。わたしたちのように機械化は進んでいますが、労働時間は、午前五時頃から午後九時半頃までと長く、これではなればだめかと、フロンティア・スピリットを教えられたような感じでした。

文化の目的は、他団体との交流、産業の北海道の学習、先生の講義がありました。交流会では、滝川市の青年との交流は同じく稲作というところで気が合っているように稲作に公費、交換の問題が取りあはれ意見交換されました。

講義では、国立大雪青年の家の所長さんから、平凡な生き方としてのむすかしさを教えられた。

一、個人として
 二、家庭人として
 三、職業人として
 四、社会人として

人並すぐれた生活よりも、平凡に生きるということがたいせつなんだと考えさせられた。

あまりの広さ、移動となれば、半日かかるといふことになり、不便を感じた。そして、北海道の農家は伸び伸びと大らかに草を食うこと。その一瞥も三メートルほどというから、友だちと顔を見合わせては、

ないで悩んでいる被害者のために五城目町で巡回相談所を開設しております。

(加害者に利用させていただきますので、(期)の相談にも応じます。)

二、時間 午前十時(金)
 午後三時(土)
 三、場所 五城目町役場三時(心配ごと相談所)

問：物価があがると年金額がスライドして引上げられるときいておられますか。

答：全国消費者物価指数が5%以上上昇したときは、その翌年度の一月から、物価の上昇率に応じて年金額が改正されます。たとえば、四八年に5%以上の上昇があつたときには五十年一月から年金額が引きあげられます。

また老齢年金だけでなく、通算老齢年金、障害年金、母子、準母子年金も同じようにスライドされます。